

おおがわらまち 議会だより

第145号
平成29年11月1日



金ヶ瀬中学校 新人戦激励会

- 平成28年度決算状況……………②③
- 決算審査特別委員会審議……………④⑤
- 町政への提言……………⑥
- 議案審議(9月会議)……………⑰
- 議決責任の明確化……………⑱
- 常任委員会所管事務調査……………⑲

決算規模は前年度比

2.6%減の142億円

一般会計

前年度比

13.6%減の

74億1,285万円

※公共施設建設工事等終了による減

財政状況の健全化
確実に前進

財政健全化判断比率の状況

(単位: %)

区 分	平成28年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	30.00
実質公債費比率	▲0.6	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

- 赤字比率等は、大河原町は該当しない(赤字なし)
- 実質公債費比率とは、町の財政規模に対する公債費の割合
- 将来負担比率とは、町の財政規模に対する将来負担すべき負債の割合
- 早期健全化基準を超えると財政運営に余裕がないと判断される



▲整備が進む川根地区（工業用地造成事業特別会計）

9会計決算額

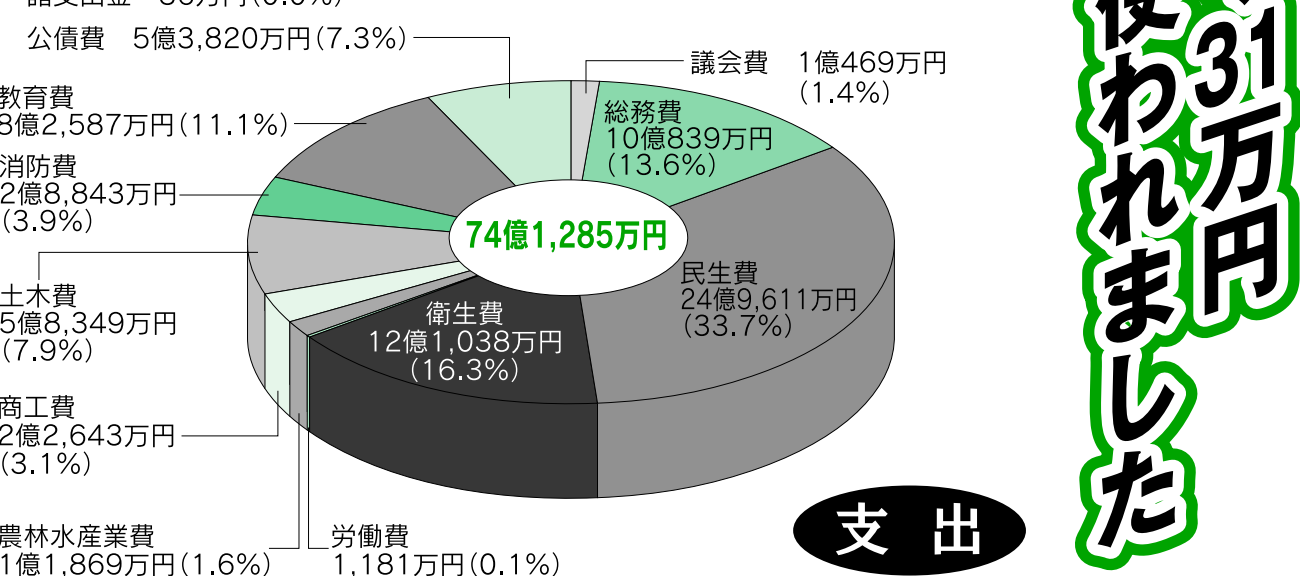
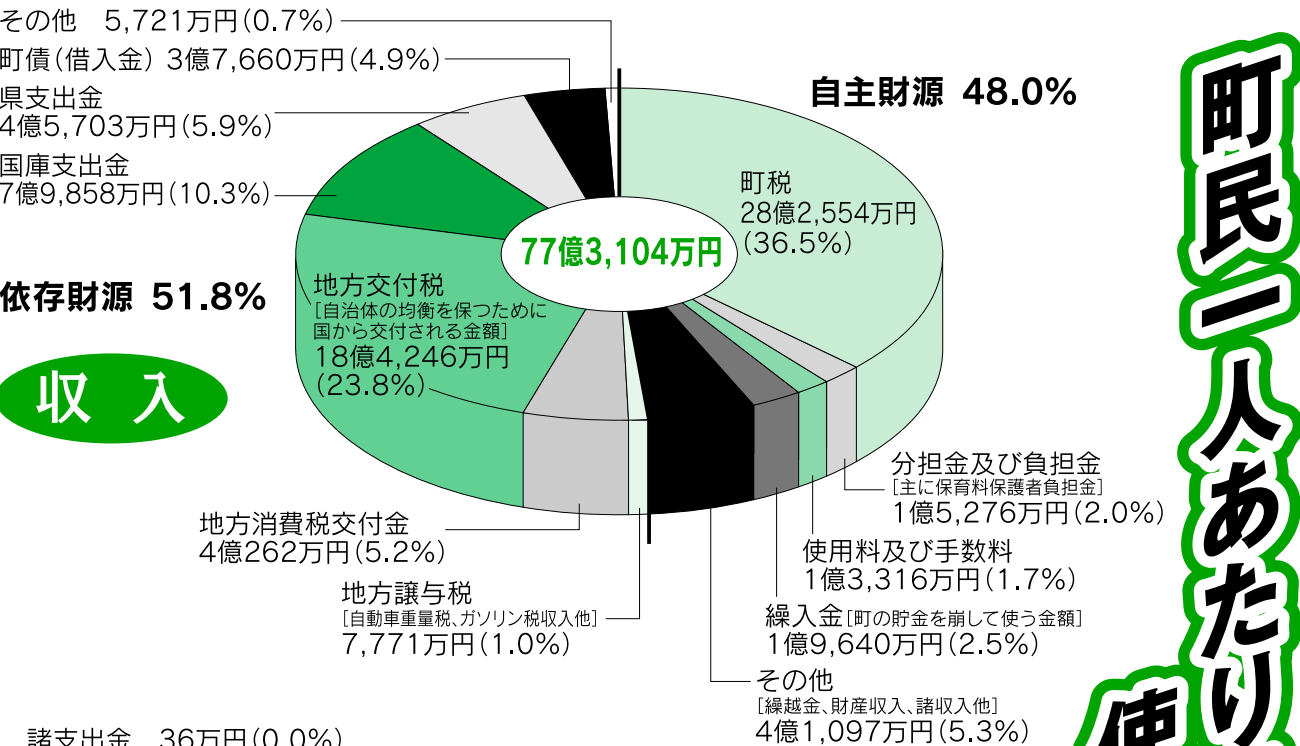
(単位: 万円)

会 計 名		歳 入	(前年度比較)	歳 出	(前年度比較)
一 般 会 計		77億3,104万円	▲14.4%	74億1,285万円	▲13.6%
後期高齢者医療特別会計		2億4,197万円	▲1.1%	2億3,857万円	▲1.3%
国民健康保険特別会計		25億4,513万円	▲5.4%	23億8,278万円	▲6.0%
介護保険特別会計		13億4,793万円	2.4%	12億4,140万円	▲0.1%
仙南夜間初期急患センター事業特別会計		5,294万円	39.9%	4,998万円	58.6%
地方卸売市場事業特別会計		490万円	1.2%	362万円	▲2.7%
工業用地造成事業特別会計		2億4,821万円	－	2億3,535万円	－
公共下水道事業特別会計		15億1,621万円	41.3%	14億8,750万円	41.1%
水道事業会計 (税込)	収益的収支	7億 330万円	5.7%	5億3,133万円	▲2.5%
	資本的収支	3億 854万円	203.1%※	6億2,501万円	78.1%
合 計		147億 17万円	▲3.1%	142億 839万円	▲2.6%

※水道施設建設工事等による増

一 般 会 計

第4回定例会（9月会議）は、9月6日から20日までの15日間の日程で開かれた。
9月会議では、平成28年度各種会計決算の認定のほか18件の提案を慎重に審査し、すべて認定、可決した。
一般質問では10議員、総括質疑では1議員が発言し、疑問点を問いただした。



町民一人あたり31万円使われました

決算審査特別委員会審議

採決の結果原案通り認定

問 平成25年度公金横領事件の弁償金は、その後のようになっているか。また、時効成立は何年か。

答 いまだ未回収金がある。今後も弁護士と相談しながら回収に努めていく。時効成立は10年である。

問 約504万円の仙南地域広域行政事務組合徴税費負担金は、回収した徴税額の985万円に対し、高すぎはしないか。

答 徴収が極めて困難な税金等債権の回収が行われ、やむを得ないと考える。

問 町内一斉清掃汚泥収集運搬委託料で、土砂受け入れ先の放射線量に上限があるのか。鷺沼入のトンパツク(土のう)にこれ仮置きしている土砂もそこに運べないのか。



▲仮置きされている土砂

答 400ベクレル以下を受け入れる。トンパツクは460〜3600ベクレルなので受け入れられないが、別な場所を模索して費用が1千500万〜2千万円かかると試算している。今後、検討する。

問 「みまもりねつと」メール配信サービス事業についての現状は。

答 登録数509件、平成28年度の配信数1件である。登録について各種研修会開催時に周知しているが、今後広報等に掲載して、より多く登録していただくようにする。配信についても、内容を見直して情報発信していく。

問 消費生活相談員等、町から委嘱を受けて業務に携わる方々の報酬にバラつきがあると感じるが、見直し等の検討はなかったのか。

答 特にそうした話し合いは持たれなかった。

問 新規に購入した動画編集ソフトでどんな動画を作成したのか。

答 CM大賞の出品作品の編集を行った。



▲動画編集ソフトで作成したCM大賞作品

問 児童手当からの保育料徴収が可能であることから、9名の保育料を児童手当から特別徴収したとある。更に未納がある保護者のうち、16名から児童手当からの保育料徴収の申出書が提出され保育料収納を実施したとあるが、いずれも問題は生じなかったのか。

答 本人が納得の上、実



▲待機児童を防ぐ取り組みを

施しているので問題ない。

問 全施設で延長保育を行っているが、各施設の利用者は、小規模保育施設より3歳児がいる認可保育施設に多くみられる。3歳児の延長が多いのか。毎年200数名の出生で大きく変わらない。将来の放課後児童クラブ利用者でもあり待機を防ぐ対応は。

答 年齢別集計はしていない。利用者増に対応検討の必要性があると協議している。

問 前年度まで計上されていた各小学校の入学記念品がなくなったのはなぜか。

答 昨年度作成した暗唱読本を入学時に記念品として配布することにしたため。



▲昨年度発行されたおおがわらの暗唱読本「寿限無」

問 学校体育館等使用料134万円の中で、町内の小・中学生が所属する団体(スポーツ少年団等)が支払っている金額はどれくらいあるのか。各団体運営費確保に大変苦労していると聞く。子供たちのスポーツ離れが進むなか、町内の子供たちが使用するときはずべて使用料免除にすることはできないか。

答 体育館使用については、一般の団体を含め66団体があり、その内子供たちの団体が4割ぐらい占める、今後検討していく。

問 給食センターの残菜の量はどのくらいか。

答 1日約120キロぐらい出ている。

問 個人番号カード交付の際に、窓口で本人が確認できない場合において、番号法顔認証用ウェブカメラ・スキャナを購入したが、必要な備品だったのか。

答 総務省からの指示で、窓口に来た方が写真と違うと感じた場合において、顔の確認を行うもの。28年度は確認できなかったものはない。

問 初期消火の大切さを認識し、火災発生時迅速に行動できるように消火栓の傍にホースなど格納庫を設置すべきと考える。

28年度はそういった意見が消防団の方から出なかったのか。

答 金ヶ瀬の火災の時にそういった意見があった。今現在、課内で検討しているが、今後もなお検討していく。



▲蔵王町に設置されているホース格納庫

問 えすこホールの本町の負担金は、7922万円(全体の67%、残りの33%は柴田町と村田町で負担)となっている。この負担割合は、今後も続くのか。財政支援を求めていくべきでないか。

答 3町の負担は変わら



▲デマンドタクシー「さくらっきー号」(イメージ)

ない。今後、音響や空調等億単位の修繕が見込まれている。仙南広域等に財政支援を働きかけていきたい。

問 デマンド型乗合タクシーの登録者が3493人いるが、年間実際に利用している人は何人か。また、年間最大利用者と1回のみの利用者は何人か。

答 実際に利用した人数は612人。1人で年間最大利用者は405回で、1回のみの利用者は102人だった。

総括質疑

万波 孝子

問 国保税等を滞納した人のうち差押え17件とあるが、差押えで生活に支障は生じていないのか。

答 生活に支障を及ぼす差押えは差押禁止財産として規定されている。給与も差押え限度額があり生活上大きな支障はない。

問 「要介護認定率は低すぎる」「要介護認定が厳しい」という声がある。検証して町民に説明責任を果たすべきでないか。

答 国の指針に基づいて調査している。今後も申請者の立場で丁寧な対応をしていく。町民への説明はどのような形で機会を作っていくか検討する。

問 放課後児童クラブは小学6年まで受け入れが可能になったが実態は。受け皿整備の見通しは。

答 低学年を優先している。4年生以上は一時預かりで対応している。金小学区で1カ所予定している。

たか はし よし お
高橋 芳男

問 地区全体をバリアフリーに

答 利便性・安全性の向上を図る

問 国土交通省は重点設備地区の面積や対象施設数といった要件を緩和し、市町村の取り組みを促す改正法案を提出する予定。地区全体のバリア



▲段差が解消された駅前交差点

フリー化は市町村でその基本構想を作成できると定めているが、全1741市町村のうち作成済みは平成29年3月時点で2割に満たない。積極的に作成に取り組んではどうか。

町長 本町としては大河原駅から役場周辺地区を指定して段差解消に取り組んでいるところ、今後

収入保険制度など農家支援

問 平成31年度から導入の「農業収入保険制度」を始めとして、「青年就農給付金」、「農業経営塾」などの制度は既にあるが、収入保険制度を機に説明会を通じた丁寧な周知や円滑な導入を始めとした「攻めの農業」への転換を図ってはどうか。

利用者の利便性・安全性の向上を図るため検討し

ていきたい。

エンディングプラン

・サポート事業

問 一人暮らしで身寄りのない高齢者の終活課題の解決を図り、いきいきとした人生を送ってもらうことを目的とした事業。

神奈川県横須賀市では事業開始後1年で、無縁納骨の数が60柱から34柱に減少するなどの実績を残している。一人暮らしの人口も増加している今、

わが町でも取り組んではどうか。

町長 本町では、過去5年間に町で葬祭を行ったケースが5件で、その内無縁仏となったケースは2件という少ない状況である。今後の検討課題として受け止める。

一般質問

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回は、10人の議員が行った。

高橋 芳男 P ⑦

- 地区全体をバリアフリーに
- 収入保険制度など農家支援
- エンディングプラン・サポート事業

万波 孝子 P ⑧

- 放射能汚染廃棄物は焼却でなく「管理」で
- 紙おむつ支給の対象者をもっと増やすべき
- 重度心身障がい者のための短期入所実現に全力を

岡崎 隆 P ⑨

- 部活動制約による生徒への悪影響はあるのではないか

堀江 一男 P ⑩

- 学校の集会室等にもエアコンの設置を

大沼 忠弘 P ⑪

- 桜保護・育成の基金を創設しては
- 「ながら見守り」にスマホアプリ活用を
- マンホールを利用したシティセールスを

須藤 慎 P ⑫

- 東部集会所整備は公園内で
- 全国学力テストの結果は
- 北朝鮮ミサイル発射時の対応は

高橋 豊 P ⑬

- 広報戦略で町のブランド化を加速せよ

伊勢 敏 P ⑭

- 町民の健康を守るため放射能汚染廃棄物を焼却しないで
- 地域ブランド戦略を策定せよ
- 自治体ポイントで地域活性化を

佐久間克明 P ⑮

- 広域的で先を見据えた公園を
- 保育士の待遇改善のためにも(掲載なし)

丸山 勝利 P ⑯

- 大河原公園の維持管理の徹底を





おか ざき 隆
岡崎

問 部活動制約による生徒への悪影響はあるのではないか

答 あると認識している

問 今年度から平日の1日と土日のいずれかを部活動の休養日とすることになった。世界一忙しいといわれる日本の中学校教員のワークライフバランスの実現のために一定の理解はするが、年度当初に突然決定し、生徒・保護者は大変戸惑った。5カ月が経過し子どもたちの生活の乱れを危惧する保護者の声も数多く聞かれた。どのように認識しているのか。

教育長 商業施設や夜祭に出かける子供が増え、生活全般の乱れは認識している。今後の課題として取り組んでいく。



一般質問

教育長 地域の教育力をもっとおかりして、子どもたちの力を伸ばしていきたいと考えている。

問 指導要綱には地域の



▲大河原中学校 部活動の様子

問 運動部では大きな大会前のハイシーズンの設定（土日の両方の活動が認められる）等の説明が、生徒・保護者には伝わっておらず、県の指導要綱にある年間計画も示されていないのが実態であり、対応がずさんではなかったか。

教育長 来年度からはしっかりと対応する。

問 運動部では大きな大会前のハイシーズンの設定（土日の両方の活動が認められる）等の説明が、生徒・保護者には伝わっておらず、県の指導要綱にある年間計画も示されていないのが実態であり、対応がずさんではなかったか。

教育長 来年度からはしっかりと対応する。

町長 わが町らしいスポーツ振興、子どもたちの健全育成につながるような形が標榜できれば、すばらしいと思う。

問 放射能汚染廃棄物は焼却でなく「管理」で

答 焼却する量を減らすため交付金活用を要請



▲上谷前から見える仙南クリーンセンター

仙南クリーンセンターで放射能汚染廃棄物が焼却されると大気中に放射性物質が拡散され健康被害を被るのは、大河原町民である。焼却するごみが一つもない町で反対運動が起きているのは当然ではないか。しかし、町長はこの声を真摯に受け止めていると言いが、国・県の焼却推進の態度でいる。

問 「焼却は安全」の根拠は。

町長 科学的な試験に基づくとする国・県の説明に異論を申し出るという状況ではない。

問 バグフィルターで放射能が99・9%除去できるといふのであれば、焼却前の検査で立証を。

町長 最も新しい焼却施設なので問題ないと考ええる。

問 大震災農業生産対策交付金は、牧草等セシウム濃度の再測定を行い、

集中保管場所への移動等の経費を支援するもの。安全で被ばくを防ぐこの管理方法を仙南広域理事事に働きかけていくべき。

紙おむつ支給の対象者をもっと増やすべき

紙おむつ支給事業は、常時失禁状態にある要介護3～5の人を介護している家族に対して、1カ月5千円の紙おむつ券を支給している。但しポータブルトイレへの移動が困難とする厳しい基準があり、該当者が極端に少ない。

問 角田市は要支援1～要介護らまで金額は違うが失禁状態者全員に支給している。参考にして見直すべき。

町長 基準に複雑な部分もあり、内容を整理し、実施要綱の改正に着手したい。

重度心身障がい者のための短期入所実現に全力を

問 医療型短期入所事業所は、10月実施予定の栗原市若柳病院を含めて県内に8カ所しかなく、仙南はゼロ地域である。仙南には医療的ケアを必要とする人は213人いる。

町長 県では、医療型短期入所モデル事業を実施している。県や医療機関等に働きかけていく。



おお ぬま ただ ひろ
大沼 忠弘

問 桜保護・育成の基金を創設しては

答 貴重な提案と受け止める

問 老木化している桜の将来構想は。

町長 老木化は避けられない大きな問題と認識している。予算措置をしつかりした上で適切な更新



▲老木化、車輛接触等による損傷に対策が必要

問 要綱や条例を設置する考えは。

町長 現在多くの方々に支えられ、保護・育成の取り組みが行われているので制度化の考えはないが、基金については年々掛かる経費が増加傾向にあり、貴重な提案と受け止める。

一般質問

町長 昨年4月の同カード配布開始以来、多くの

問 コレクターが収集目的に現地を訪れるマンホールカードを発行してみているかどうか。

マンホールを利用した シティセールスを

メディアに取り上げられコレクションカードとしても設計され、シティセールスカードとしても注目されている。カードの重要性を認識しており発行に向け検討していく。

町長 不審や危険と感じた時は緊急で、いち早く通報する必要がある。110番通報がもっとも有効。道路不具合については、現在区長経由や住民から

問 スマホアプリによる防犯、道路等不具合通報システム構築の考えは。

問 桜並木区間の車輛乗り入れ規制（高さ制限）はできないか。

町長 高さ制限は道路の構造上に対する制限なので難しいと考えている。

「ながら見守り」に スマホアプリ活用を

問 新たな桜植栽の考え、またその場所は。

町長 白石川堤ほぼ全域に植樹がされており、現在のところこれ以外に新たな植栽の考えはない。

直接連絡がある。今年2月からは郵便局との協定により不具合があった際は連絡をもらうことになっており、どの場合でも職員が現地に出向き速やかに対応していることから導入とまでは考えていない。

問 学校の集会室等にもエアコンの設置を

答 設置する方向で前向きに検討する

問 大河原町の中学生が住みたい町について話し合う「中学生未来会議」が7月に世代交流いきいきプラザで行われ、その内容が河北新報に掲載された。その中で生徒たちは「学力向上のために学校の教室にエアコンを設置してほしい」と訴えたところ。私も7月に小学校を訪ねた時、校長室と職員室にエアコンは設置されていたが電源は入っていないかった。理由を尋ねると、子どもたちが暑い中勉強しているのに職員だけが涼しい思いは出来ない。子どもたちが下校したらスイッチを入れ



ほり え かず お
堀江 一男

などの事で、職員は汗だくで仕事をしていた。先生からせめて集会室にエアコンが有ればいいですね。との事でした。教室すべてに設置は財政的に無理としてもせめて各学校で集会する会議室等に設置する考えはないか。

町長 「中学生未来会議」の中で、学力向上のためにエアコンを設置してほしいという、生徒の切実な声を重く受け止めたところである。普通教室へのエアコン設置は、今すぐ実施する事は難しい状況だが、会議等を行う特別教室への設置要望は、設置する方向で前向きに検討する。

問 異常気象に左右されない6次産業化の推進と、6次産業化へ向けて、

失敗を恐れず、少ない資金で第一歩を進めるべきと考えるが。

町長 異常気象に左右されない農業システムの構築には、ハウスの導入による栽培方法が考えられるが、設備の構築が必要である事と、6次産業化を図るには、加工技術の習得、安定した収量の確



▲集会室等へのエアコン設置の実現を(大河原小学校 視聴覚室)

保など課題も大きいことから、生産者・生産者団体等と協議しながら、6次産業化の構築を目指す。



高橋 ゆたか

問 広報戦略で町の ブランド化を加速せよ

答 動画を積極的に発信していく

問 大河原町の魅力を発信する方法は現状どのようになっているか。

町長 町の魅力を発信する方法については、「広報おがわら」ホームページ、公式フェイスブックページにより発信している。

問 動画が簡単に撮れる時代になった。文字で伝えるよりもわかりやすく効果的に伝えることができる。今後活用できないか。

町長 動画による情報発信については、本年8月より公式フェイスブックにより配信を行っている。情報発信の効果が期待で



一般質問

町長 現在大河原町広告掲載実施要綱において、町施設へのネーミングライツができることとして、いるが詳細な取扱要領は

問 大河原町広告掲載実施要綱の中でネーミングライツ「命名権」があるが現状どのようなになっているか。また、今後の予定は。

町長 今後ホームページのリニューアルを予定しており、情報発信の充実を図っていくが、現在のところ専門部署までは考えていない。

問 大河原町の広報戦略について、専業でできる部署が必要であると考えている。今後設置の予定は。

町長 今後ホームページのリニューアルを予定しており、情報発信の充実を図っていくが、現在のところ専門部署までは考えていない。



▲見直しが望まれる総合案内

問 東部集会所整備は 公園内で

答 改めて国・県に確認し検討する

問 東部集会所建替えについて町の回答は一貫して「公園内に集会所があるため建替えができない」との回答と記憶しているがどうか。

町長 都市公園法等の定めにより公園施設として一体的に管理され誰でも使用できる集会所設置は可能と判断している。東部集会所は地区の集会所としての位置づけが強い



しん 慎



一般質問

ことから建替えの場合には公園外に設置されるのが望ましいと考えている。

問 宮城県、国土交通省の担当者に直接確認したが、公園内の集会所建替えは法律上何も問題ないとの回答を得た。再度検討すべきではないか。

町長 改めて国・県に確



▲建て替えが望まれる東部集会所

認すべきとの認識を持つた。老朽化している現実を受け、改めて検討する。

全国学力テストの結果は

問 本町の教科別平均正答率は。

教育長 以下のとおり。

小6	大河原町	全国	宮城県※
国語A	78%	74.8%	73%
国語B	62%	57.5%	54%
算数A	85%	78.6%	76%
算数B	51%	45.9%	42%

中3	大河原町	全国	宮城県※
国語A	73%	77.4%	74%
国語B	70%	72.2%	70%
数学A	58%	64.6%	59%
数学B	42%	48.1%	44%

※仙台市を除く

問 本町小学校の結果は県内で上位という認識でよいか。

教育長 国語・数学共に全国、宮城県平均を下回っており、数学に関しては大きく乖離している。

問 課題は。

教育長 小学校と中学校での正答率のギャップがここ数年の本町の課題でもある。その要因を解明し手立てを講じるべく分析を進めている。

北朝鮮ミサイル発射時の対応は

問 ミサイルが発射された際に町としてサイレンを鳴らす等の対応を取るべきでは。

町長 具体的な対応について十分検討したい。

定めていないため実現していない。実際として、町施設へのネーミングライツの需要は少ないと思われるが、今後の施設の新設や改修等に合わせ、詳細を検討する。

問 役場庁舎に来庁した際、総合案内があるとわかりやすいようにイメージも良い。今後設置の予定は。

町長 現在、正面玄関フロアに総合案内板を設置している。また、町民生活課町民係に案内表示を設置し、町民係の職員が職務も兼ねて総合案内を行っている。



さくま かつあき
佐久間克明

問 広域的で先を見据えた公園を

答 自治体の垣根を超えた利活用や連携も検討

問 合わせて大河原公園外周の構造物に関し、現代ニーズに合わせた形とすべきでは。設計者の著作権を譲渡、買取るなど

町長 昨年度から本年6月にかけて検討。さくら大橋から大河原大橋までの約14haの河川敷について、野外活動スペースやイベント広場、パークゴルフ場、ウォーキングコース、サイクリングコースや花による修景スペース、桜まつり臨時駐車場としても利用できる多目的広場としてイメージが出来上がった。

問 河川敷右岸整備のスケジュールやイメージを示してほしい。

対応は。更に隣町にグラウンドや球場、ラグビー施設があり、広域的に先を見据え、有効利用できる近隣に無い大河原町を生かしたまちづくりが必要と思うがどうか。

町長 現段階で譲渡、売却は基本的にしない方向で回答をいただいている。大規模改修となれば、自治体の垣根を超えた利活用や連携も検討し、本町まちづくりに活かすとともに広域的視点も大切だと受け止める。

問 福島県にある「保原総合公園」はスポーツや巨大滑り台、アスレチックなど家族が1日遊べる施設だと思うが。

町長 大規模な予算が必要となることや設計者と協議が必要となり、参考の1つにする。

一般質問

問 北海道にある「芝桜公園」は広大な面積に芝桜が植えてある。一目千本桜の今後を考えた際に、同じ場所に植栽するには根菌の関係で25年ほど間をあける必要性を聞いた。芝桜は土手法面に植栽でき面積を確保できるが。

町長 植栽について他の先進地を参考に検討する。

問 平成27年に団体の出資により桜を植栽したが、一目千本桜の管理現体から25m間隔が適正と聞いた。早めの対処を。

町長 確認し必要であれば移植も含めて検討する。



▲整備が待たれる白石川河川敷(右岸)

問 町民の健康を守るため放射能汚染廃棄物を焼却しないで

答 県の方針である焼却に本町は反対できない



いせ さとし
伊勢 敏

問 県が安全の根拠にしているデータは、資料作成者の国立資源循環・廃棄物研究センター所長が、本年7月、他のデータを間違えて掲載したことを認めた。環境省の資

料では、放射能は焼却により最大10%が大気中に飛散する。この場合、仙南クリーンセンターで1日1トンの汚染廃棄物を焼却すれば、毎日約8万7千ベクレルの放射能の飛散が約20年続く。放射能を肺に吸い込めば、被ばくし続け健康を害する。しかし、広範囲に薄まると飛散するため、モニタリングポストに反応



▲上谷集会所から望む仙南クリーンセンター

一般質問

するには至らない。このことを根拠に『見せかけの虚ろな安心』を町民に広めてはならない。放射能の焼却で最も被害を受ける大河原町民を代表して町長は、仙南広域行政事務組合に対し、計画の撤回を求めているかどうか。同僚議員への答弁で町長は「国や県に対して異論を唱える立場ではない」と述べた。住民自治をないがしろにするものだ。

町長 モニタリングポストが焼却により反応しないとの説明を受けてこなかったもので、その指摘は了解できず、県の方針に賛同する。

※モニタリングポスト
大気中の放射線量を継続的に測定する検出器のこと。(町内4力所に国が設置)

地域ブランド戦略を策定せよ

問 町の将来ビジョンと連動させた「地域ブランド戦略」を策定し、取り組んではどうか。

町長 現在、ブランド戦略をまとめる考えはない。

自治体ポイントで地域活性化を

問 総務省主導のマイキープラットフォーム構想は、種々のカードをマイナンバーカードに集約、自治体ポイントと民間ポイントを統合、地域活性化を図るもの。先行して積極的に取り組んではどうか。

町長 先行した取り組みは考えていない。

旧仙台地方検察庁大河原支局 土地・建物取得へ

報告5件 議案13件 認定9件 意見書1件 原案通り可決

▼財産の交換について
町で公共施設として利用するため、旧仙台地方検察庁大河原支部の土地及び建物を取得する目的で、町所有の仙台法務局大河原支局の駐車場部分の土地と交換を行うことを議決。

1. 交換に供する財産

①種類 土地
②所在地 字錦町1番9番ほか3筆
③地目 宅地
④地積 1166.31㎡
⑤価格 3880万円

2. 交換により取得する財産

①種類 土地・建物
②所在地 字南海道下47番ほか3筆
③地目 宅地
④数量 土地 全取得面積2008.96㎡(交換により取得する面積1197.28㎡/国から無償で取得する面積811.68㎡)
建物 延床面積372.44㎡
⑤価格 土地・建物外 3474万8千円

3. 交換の相手方 国(財務省)
4. 交換差金 相手方は町に対し、交換差金405万2千円を支払うものとする。

▼稗田前集会所整備工事について
老朽化に伴う稗田前集会所移設新築工事の請負契約が認められた。工期は平成30年3月23日まで。

○請負金額 5346万円
○落札業者 株式会社 枅建設
○工事内容 木造平屋建て 延床面積188.80㎡



▲旧仙台地方検察庁大河原支部



▲建設が進む金ヶ瀬カトリック保育園



▲稗田前集会所整備予定地

一般会計 主な補正予算	
収入	支出
保育所緊急整備事業費補助金 ▲190万4千円	職員退職手当組合負担金 ▲1000万円
子ども・子育て支援整備交付金 1607万円	保育所施設整備費補助金 ▲2714万1千円
財政調整基金繰入金 ▲3026万5千円	放課後児童クラブ施設整備費補助金 4128万4千円
金ヶ瀬中央線舗装補修事業(起債) 1800万円	放課後児童クラブ環境改善事業補助金 100万円
	中核病院西線道路改良工事 3820万円
	薬師大久保線道路改良工事 450万円
	私立幼稚園就園奨励費補助金 252万7千円

問 大河原公園の維持管理の徹底を

答 検討していきたい

町長 公園面積5万4043㎡のうち、多目的広場とテニスコートを合わせた1万6880㎡は体育施設なので生涯学習課で管理し、管理を大河原町スポーツ振興アカデミーに委託している。その他の3万7163㎡は地域整備課で管理し、シルバー人材センターに管理を委託している。

問 駐車場の入口の看板が見づらく、内容も季節により利用時間がまちまち

町長 生涯学習課長 きちんとした見栄えのいい施設にできるように検討していきたい。

問 所管事務調査や議会報告会でも心配されているアクアリウムなどや、公園部分で使われていない部分が多い。意匠権などの問題があるが、もつ

と町民に使いやすい施設に出来ないか。

町長 現在実施している大河原町都市計画マスタープラン策定に伴う住民アンケートの意見を踏まえて、白石川河川敷活用全体像も踏まえて検討したい。

問 移転整備されたスケートパークだが、24時間

生涯学習課長 関係機関と協議したい。

誰でも入れ、人目に付きにくい場所にある。夜の管理状況について、どのように考えているのか。



丸山 勝利

一般質問

生涯学習課長 内容を確認し、表示等をしつかりしていきたい。

ちで非常に分かりづらい、改修すべきではないか。



▲新しく移転・整備された大河原公園スケートパーク

《平成29年第4回定例会(9月会議) 議案等審議結果》

件名	議決月日	議決結果	議員別表決結果一覧														
			高橋豊	伊勢敏	佐久間克明	須藤慎	大沼忠弘	高橋芳男	岡崎隆	丸山勝利	堀江一男	枘和也	庄司充	万波孝子	秋山昇	山崎剛	佐藤貴久
財産の交換	9/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	9/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町個人情報保護条例及び大河原町情報公開条例の一部改正	9/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	9/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	9/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度一般会計補正予算(第4号)	9/13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	9/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	9/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	9/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度仙南夜間初期急患センター事業特別会計補正予算(第1号)	9/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	9/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度水道事業会計補正予算(第1号)	9/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度一般会計歳入歳出決算認定	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成28年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成28年度仙南夜間初期急患センター事業特別会計歳入歳出決算認定	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成28年度地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成28年度工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成28年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
平成28年度水道事業会計剰余金の処分及び決算認定	9/20	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議
工事請負契約の締結(稗田前集会所整備工事)	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	欠	議
宮城県国民健康保険運営方針案に関する意見書案	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

意見書を県に提出

宮城県国民健康保険運営方針案に関する意見書

平成30年度からの国民健康保険の都道府県化に伴い、宮城県でも制度設計の検討が進められている。
①県は事業費納付金・標準保険料試算を一刻も早く公表すること。
②2018年度以降も現在以上に保険料(税)を上げないこと。
③各市町村は低所得者の保険料(税)を軽減するなど、一般会計からの繰り入れを実施してきた。今後は財政的責任の主体となる県において、一般会計法定外繰入、保険料決定など、市町村における独自権限を侵害しないこと。
④準備が整わないまま拙速な実施はせず、場合によっては延期も検討すること。
⑤国に対し、財政措置の検討を求めていくこと。

総務産業常任委員会

①鷺沼排水区雨水整備事業の進捗状況について

柴田町と共同で国土交通省所管の補助事業である公共下水道雨水整備事業。平成23年度に事業認可を取得し、平成25年度から工事に着手している。現状、設計段階での施工内容が難しく施工方法の見直しが必要になったため、工期が遅れている。

②金ヶ瀬揚配水場整備事業の進捗状況について

水道水の安定供給を図るため、施設の耐震化及び緊急時の給水拠点整備を目的として、平成26年度から平成29年度までの4カ年計画で行い、今年度で完了する。現状、建物本体工事は完成して、外構工事を残すだけである。



▲金ヶ瀬揚配水場

文教厚生常任委員会

①障害福祉サービスについて

平成28年度の現状は障害者手帳所持者1033人である。障害福祉サービス等利用状況は、年間延人数2806人。結果として、障がい者(児)のサービス提供の充実は避けられない。特に障がい者を支える家族の負担は大きく、入所施設や短期入所施設の整備は急務となっている。

②中央公民館の現状と課題について

現状は築38年経過し、老朽化が進んでいる。町民サービス向上や老朽化対策を一気に進めるために、平成29年度地方創生拠点整備交付金事業を活用して(仮称)にぎわい創出中央公民館複合化事業をすることになった。



▲中央公民館

議会運営委員会

議会改革の取り組みと議会運営について視察

福島県会津美里町議会

議会基本条例(平成24年10月1日施行)、平成23年6月に特別委員会が設置され、その後平成24年9月に特別委員会が廃止されるまで、福島大学中川教授の指導をいただき等、計26回の委員会が開催され議会基本条例が施行された。委員会討議においては、本会議及び常任委員会において論点整理表、審議結果一覧表が作成されている。

福島県伊達市議会

政策討論会の実施。重要な政策・課題に対して、議会として共通認識の醸成を図り合意形成を得るために開催。議員全員をもつて構成され議員自ら運営している。



▲会津美里町議会での様子

議会広報常任委員会

議会広報の発行に関する企画、文章表現等を視察

岩手県金ヶ崎町議会

編集のモットーは「ありのままに解りやすく」。議員の力だけでスピード発行している。(議会定例会の翌月第一木曜日には町民の手に)編集委員のチームワークで発行が待たれる広報誌づくりに努めている。

宮城県大和町議会

議会の審議内容を中心に議会活動状況、行政の動き等を町民に知っていただくために読まれる広報誌を目指している。編集に際して、町民の目線に立った議会だよりを心がけており、インパクトのある見出し・写真・レイアウトで読みたくなる紙面づくりを心がけている。



▲大和町議会での様子

議会報告会を開催します

● 11月9日(木) 午後6時～

《本町集会所・東桜集会所・金ヶ瀬中央集会所》

● 11月13日(月) 午後6時～

《むつみ集会所・新開集会所・東部集会所》

みなさんのご参加を
お待ちしております。



12月議会のお知らせ

議会を傍聴しませんか

招集日 12月6日(水)
再開日 12月12日(火)

詳細は議事事務局まで ☎53-2800

がんばっている子どもたち!

祝 東北中学校総合体育大会へ出場!!

県中総体が7月22日～25日に開催され、町内の生徒が素晴らしい結果で見事東北大会出場を果たしました。東北大会での出場結果は以下の通りです。おめでとうございます!

○大中女子ソフトテニス部
団体第3位

(齋藤美咲さん・齊藤双葉さん・古川愛梨奈さん・村上茉悠さん・高橋栞恩さん・原田優さん・高橋菜々美さん)

個人出場

(古川愛梨奈さん・齊藤双葉さん)

○大中男子ソフトテニス部
個人ベスト16

(斎藤幹太さん・原田大地さん)

○大中水泳部
手嶋陸さん

(男子400m自由形第6位・男子200m自由形出場)

小嶋優香さん
(女子50m自由形出場)

○大中新体操部
伊藤海晴さん

(ロープ第6位・リング第11位・総合第9位)

○金中水泳部

大村心優さん
(女子200mバタフライ出場)



**祝 大河原管内中学校英語暗唱弁論大会 最優秀賞
宮城県中学校英語暗唱大会 奨励賞**

峯田実奈さん(金中3年)が9月11日に開催された大河原教育事務所管内大会で見事、最優秀賞に選ばれ、9月28日に開催された宮城県大会に出場しました。



編集後記

恒例のおおがわら夏祭り花火大会。あいにくの天候にもかかわらず開催され、多くの方々に足を運んでいただきました。今年の夏は、低温、日照不足で夏らしさを感じる日が少なく、あつという間に秋へ。米等、農作物への影響も懸念されるところでもあります。

冬の訪れも間近になり、2017年も残すところ2カ月余りとなりました。今年1年、議会だよりを読んでいただきましたこと心より感謝と御礼を申し上げます。今後より読みやすい議会だよりづくりに努めてまいります。

(須藤 慎)

編集発行責任者

議長 佐藤 貴久

議会広報常任委員

委員長 佐久間 克明

副委員長 須藤 慎

委員 万波 孝子

委員 大沼 忠弘

委員 伊勢 敏

委員 高橋 豊